



Citrix、デジタルワークスペースの 新しいセキュリティ ソリューション

###

<Citrix製品に関するお問合せ> <https://www.citrix.com/ja-jp/contact/form/inquiry/>

【ソーシャルアカウント】

- Twitter : https://twitter.com/citrix_jp
- Facebook : <https://www.facebook.com/CitrixJapan/>

既に提供を開始しているCitrix Secure Workspace Accessと併用することで Secure Access Services Edge (SASE) への移行を加速

2021年2月26日 # - シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：尾羽沢 功、以下 シトリックス）は、Citrix Workspace向けの新しいセキュリティソリューション、「Citrix Secure Internet Access」を2月26日（金）より提供開始することを発表しました。企業の自己防衛を支援する目的で開発されたこのセキュリティソリューションを使用することで、仕事の場所やデバイスに依存することなく、アプリケーションへのアクセス時におけるセキュリティ保護を強化できます。

新型コロナウイルスのパンデミックによりクラウドとテレワークが急速に普及し、新たなレベルの生産性とイノベーション推進を保証する動的な仕事環境が作られました。一方で、セキュリティと信頼性に関する新たな問題やサイバー攻撃が増加し、ゼロトラストモデルに基づいて従業員を脅威から守る一貫したセキュリティが求められています。米国連邦捜査局（FBI）のレポートでは、パンデミック以降に発生したサイバー攻撃の被害件数が400%増加し、また企業のリソースにリモートアクセスしなければならない従業員の数も増加傾向にあると報告されています。

独立系調査会社のESGでサイバーセキュリティ アナリストを務めるジョン・グレイディ（John Grady）氏は次のように述べています。「企業は今日の事業環境が動的であるにもかかわらず、静的な周辺部を防御するようにしか設計されていないソリューションで苦勞し、対策のための新たな手法を強く求めています。集中管理、および環境全体にわたってセキュリティ手段を提供するソリューションを通じ、セキュリティ、パフォーマンス、および効率を高めることが企業から期待されています」

統一されたアプリケーション中心のアプローチ

Citrixはこの課題に対し、アプリケーション中心にネットワーク・セキュリティを捉え、包括的なWAN機能とネットワーク・セキュリティ機能をまとめるセキュリティソリューションを提供します。これにより、企業は、Secure Access Service Edge (SASE)への移行を加速することができ、セキュリティの投資対効果やセキュリティ施策の有効性を将来にわたり確保できます。

また、クラウドから提供されるセキュリティスタックを、アイデンティティ認識型のZero Trust Network Access (ZTNA) とアプリケーション認識型の SD-WANとともにひとつのソリューションにまとめ、企業がクラウドとインターネットベースのアプリケーションを、セキュリティ、高可用性および信頼性のもとで業務環境全体にわたり提供します。

• Citrix Secure Internet Access- 今日の企業が必要とするセキュリティに対応した、包括的でグローバルなクラウド型セキュリティサービスです。これにはセキュリティの確保されたウェブゲートウェイ、次世代ファイアウォール、クラウドアクセス・セキュリティブローカー (CASB)、DLP、サンドボックス、およびAIによる攻撃検出が含まれます。

ゼロトラストに基づく従業員保護

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 常務執行役員 セールス・エンジニアリング本部 本部長である 永長 純氏は次のように述べています。「企業は、従業員エクスペリエンスに悪影響を及ぼすことなく、ゼロトラストモデルに基づき従業員を保護するインテリジェントなアプローチをワークスペースのセキュリティに求めています。Citrixのソリューションは、まさに企業のニーズにあったデジタルワークプレイスを実現できるように設計されています。」

調査会社であるPulseとCitrixが企業のIT部門責任者を対象に最近行った調査でも裏付けられています。北米、欧州、中東、アフリカ、およびアジア太平洋地域から選ばれた100名の役員とマネージャークラスのうち、97%が従業員の業務エクスペリエンスへの影響がセキュリティ関連戦略に関する最も重要な要素であると回答しています。また75%はその設計と実施を通じてユーザーエクスペリエンスの改善を目指していると述べています。

Citrixによるこのセキュリティへのアプローチにより、企業は以下のことが可能になります。

- すべてのクラウドおよびインターネットベースのアプリケーションと仮想デスクトップへのアイデンティティ認識、およびゼロトラストに基づくアクセスを通じて、セキュリティと生産性を改善。
- 機械学習と人工知能を活用してユーザーの挙動に関するリアルタイムのインサイトを取得するとともに、セキュリティ違反防止のための作業を自動化しながら、従業員へ信頼できるデジタルワークスペースを提供。
- 組み込まれたフォレンジック機能、およびすべてのトラフィックとユーザー活動に対する詳細な検索機能を使って個々のセキュリティ・インシデント、非定型的な活動、およびポリシー違反を特定。
- 10種類を超える脅威インテリジェンスをエンジンとする100カ所を超えるグローバルなPOP（ポイントオブプレゼンス）を活用したあらゆる脅威からの保護。
- 一般的なすべてのクラウドとSaaS、デバイス、およびオペレーティングシステムを完全に網羅し、セキュリティの対象範囲からすべてのギャップを排除。
- 内蔵SD-WAN、アプリケーション最適化、および数千種類のSaaSサービスとのピアリングにより、ネットワークの可用性にかかわらず一貫して高速なアプリケーションを提供。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 常務執行役員 エンタープライズ事業グループ担当役員 湊原 孝徳 氏 シトリックスによる、Citrix Secure Internet Accessのリリースを歓迎いたします。アフターコロナ時代の労働環境として拡大中のリモートワークニーズに対する益々のビジネス拡大を期待しております。昨年来より協業させていただいているCitrix Cloudにおけるデジタルワークスペースソリューション

ンにおいてもセキュリティは重要な要素となっており、CTCの様々なセキュリティサービスやCUVICシリーズを中心とした各種クラウドサービスとの連携もすすめてまいります。株式会社セキュアベース 代表取締役社長 阿部 実洋 氏セキュアベースは、シトリックスによるCitrix Secure Internet Accessの提供開始を心より歓迎いたします。本ソリューションが新たにCitrix Workspaceに加わることで、新型コロナウイルスのパンデミックにより急速に進んだクラウド利用やテレワークの普及など、静的から動的に移り変わる業務環境と、それらを取り巻くサイバー脅威に対し、従業員の生産性や利便性を損なうことなく、変化に即した最適なセキュリティ保護を提供できるものと確信しています。セキュアベースは、サイバーリスクを可視化するアセスメントサービス等、サイバーセキュリティコンサルティングの提供を通じて、今後もシトリックスとのパートナーシップを強化し、お客様のビジネス環境の保護を支援してまいります。

株式会社ネットワーク 代表取締役社長 森田 晶一 氏 株式会社ネットワークは、シトリックスのCitrix Secure Internet Accessの提供開始を心より歓迎いたします。1998年に締結した日本初のシトリックスとのディストリビューター契約から24年、弊社は仮想化ビジネスをリードする中、Citrix VDIの国内展開を積極的に支援して参りました。現在ではこのVDI環境に限らず、ワークスペース全体のセキュリティを包括的に保護する取り組みが注目されています。その中で、Citrix Secure Internet Accessは昨今のビジネス環境が変化する中で、様変わりする働き方に更なる安全と生産性をもたらしてくれると確信しております。今後も、シトリックスと一層の協業を深め、お客様に有益なセキュリティソリューションの提案を展開して参ります。

#

価格設定と詳細について

Citrix Secure Internet Accessは2月26日（金）より国内で提供を開始します。SD-WANとの組み合わせが推奨されますが、サードパーティのSD-WANインフラストラクチャともプラグアンドプレイで組み合わせが可能なため、従来の投資を最大限に活用することができます。

このサービスは、複雑なクラウド環境でも多様なテクノロジーを通じてセキュリティを実現します。サービスを通じて提供される管理・監視ソリューション、得られる価値の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

Citrixは、企業が一貫してセキュリティが確保された、信頼できるエクスペリエンスを提供し、それによって従業員が最高の成果を収めることを支援するテクノロジーを開発しています。

#